

週間漁海況情報—第8号

平成26年2月24日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

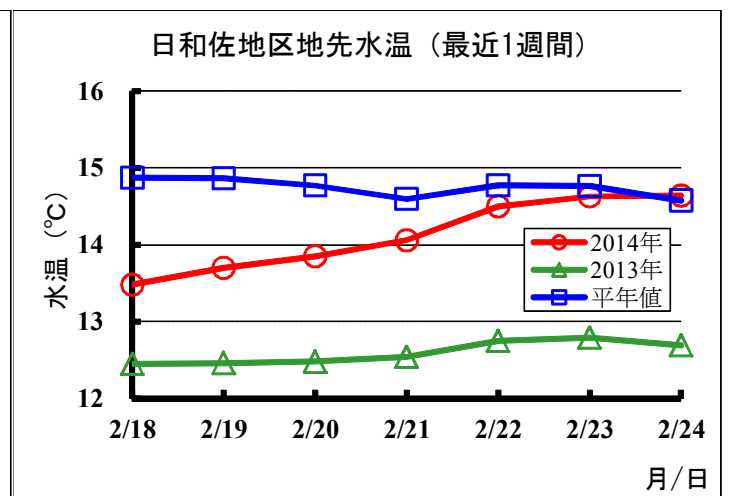
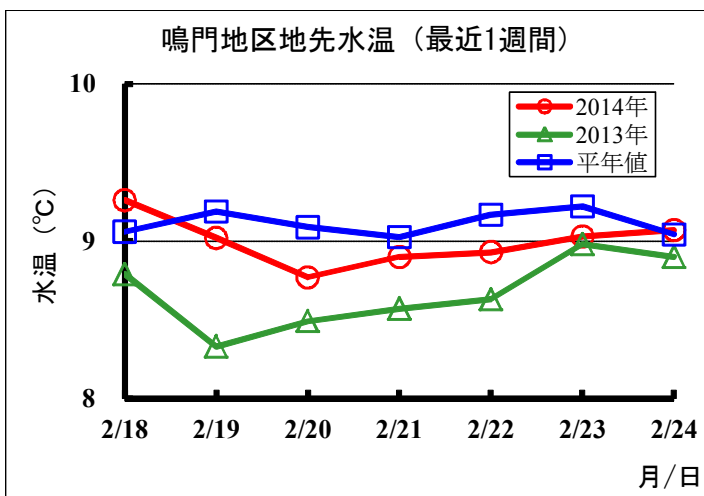
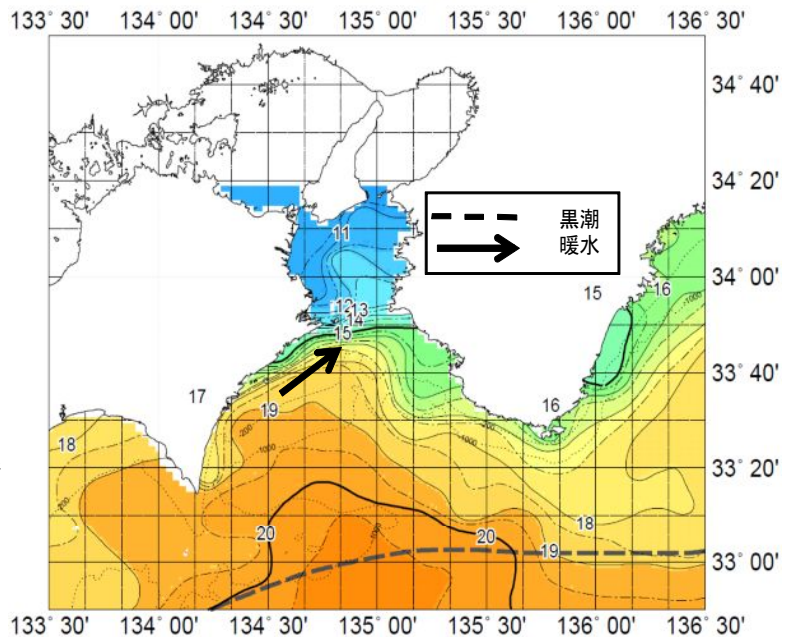
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.2.24）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9℃台、紀伊水道で10～13℃台、海部沿岸で14～19℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬沖から海部沿岸にかけて暖水流入がみられ、蒲生田岬付近まで17～18℃台となっている。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並」の8.8～9.3℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並」の13.5～14.6℃、牟岐地区は「平年並」～「やや高め」の14.7～16.0℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値

鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

2014年2月18～20日にかけて四国沖を通過した低気圧の影響により、出漁日数が少なかった。

延縄：海部沿岸で、カワハギが0.4トン（1日1隻あたり44kg）、大主体にキダイが0.2トン（同12kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、ヒラメが0.2トン（同4kg）、ブダイが0.1トン（同9kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、カタクチイワシが1.1トン（同62kg）、キビナゴが0.3トン（同50kg）、アオリイカが0.1トン（同5kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年2月17日～2014年2月23日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カワハギ	9	393	44	
		キダイ	14	167	12	大主体
建網		ヒラメ	45	164	4	
		ブダイ	11	104	9	
小型定置網		カタクチイワシ	17	1,057	62	
		キビナゴ	5	250	50	
		アオリイカ	28	146	5	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年2月18日～2月24日には、海部沿岸では、延縄で、中主体にアカムツが0.6トン、大主体にキダイが0.5トン、建網で、中主体にヒラメが0.2トン、小型定置網で、カタクチイワシが3.2トン、キビナゴが0.6トン、中主体にメジナが0.2トン、アオリイカが0.4トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の9℃台、日和佐地先で「平年並」～「高め」の14～15℃台で推移する見込み。